



●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●

姉妹都市

— 世界は君を待っている —

Sister Cities



サーモンアーム

No. 17
2011. 12



主な内容

サーモンアーム市より心を込めて
～サーモンアーム市からの応援メッセージ～

稲敷市姉妹都市交流委員会

交流研修会に参加して

ホストファミリー募集のお知らせ

姉妹都市交流の歴史

▲震災のお見舞い品や義援金に対して、稲敷市関係者から感謝のメッセージ入りTシャツをサーモンアーム市へお届けしました。

サーモンアーム市より心を入れて

～サーモンアーム市からの応援メッセージ～

平成23年4月4日、サーモンアーム市から訪問団代表者らが来訪し、東日本大震災により大きな被害を受けた稲敷市民に対し、手作りのお見舞いの品や義援金が届けられました。お見舞いの品の制作の様子やメッセージの一部を紹介します。

稲敷市 田口久克市長 様

我々教育委員会と生徒、教員、その他教育機関の人々より、稲敷市民をはじめとする全国民の方々の今回の地震の災害に対し、心からお見舞いを申し上げます。(中略)稲敷市の自治体、また全国レベルで発生したこの惨事によって、今回は残念ながら姉妹都市交流は中止になりましたが、代わりに惨事の被害にあった方々の手助けに少しでも多くの時間をまわせるのであれば、これに越したことはありません。

私たちの学区から友情のしるしとして義援金18万5千円をお送りします。これには予定されていた交流ディナーに充てる予定だった資金、そしてサーモンアーム市の生徒達で集めた寄付が含まれています。(中略)

サーモンアーム市の市民、生徒、及びサーモンアーム学区関連を含めた全員が、稲敷市を見守るとともに、復興を心よりお祈りしています。(中略)

サーモンアーム市より心を入れて、

教育長 ダグ・ピアソン

※現在の教育長はデブ・ウィットです。

田口久克市長 様

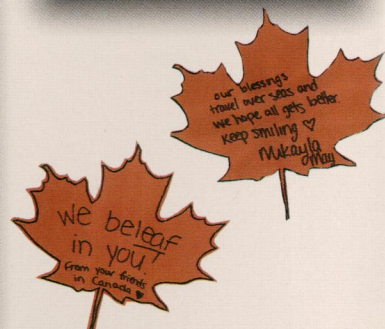
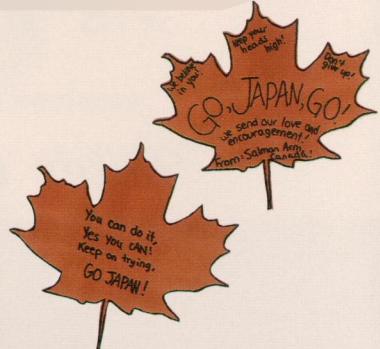
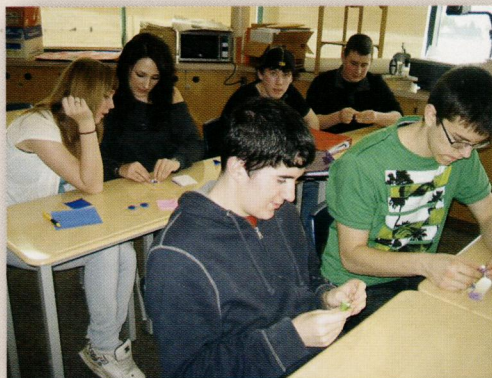
稲敷市民 日本国民の皆様

稲敷市の皆様と20年以上の歴史を持つサーモンアーム市にとっても今回の自然災害は、とても他人事とは思えません。(中略)市の住民は皆『私に何かできることはありませんか?』と言っています。

あのような大きな災害を経験したにも関わらず、過去を振り返らずに前向きである日本の方々の精神を私はとても尊敬しています。何よりも日本の皆様の強さ、そして魂が伝わってくるのです。(中略)

稲敷市の皆様がまたサーモンアーム市との交流を再開できる日を私も含め市の全住民は心より願っています。

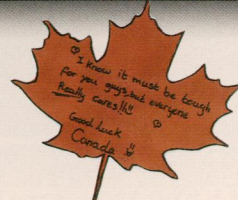
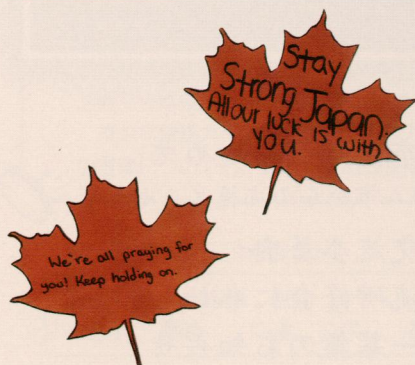
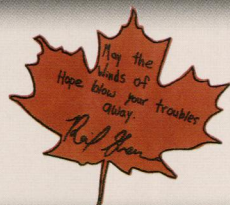
サーモンアーム市長 マーティ・ブーツマ



稲敷市姉妹都市交流委員会 様

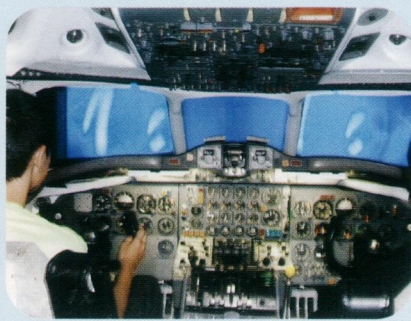
私たちは皆様の地域の被災した状況を目撃し、恐怖と衝撃、悲しみに打ちのめされました。私たちの思いや祈り、願いが皆様に届きますように。もし私たちが力になれることがあれば、ためらうことなくお知らせください。

サーモンアーム学区教育委員会



交流研修会(H23.8.19)

震災のため中止となった3月のホームステイ受け入れ予定だった方と
交流委員会会員で成田空港と航空科学博物館を見学しました。



— 交流研修会に参加して —

根 藤 光さん (高校2年)

8月19日交流研修会成田空港、航空博物館見学に参加させていただきました。当日はあいにくの雨でしたが、空港ではNAA職員案内による普段立入る事の出来ないエリアのガイド付バスツアーで、目前で沢山のジャンボ機を見学させていただき、大きさと音がとても迫力的でした。航空科学博物館では念願のDC8のシュミレーションの操作をする事が出来、実際にパイロットのようにレバーやボタンの操作をさせていただきました。両方ともなかなか経験する事が出来ない事でしたので参加させていただいて良かったです。有意義で楽しい一日でした。ありがとうございました。



小 貫 泰 典さん (中学3年)

僕は、今回のホームステイの受け入れが中止になってしまいとても残念に思っていました。しかし、この成田空港・航空科学博物館の見学で一緒に受け入れをするホストファミリーと顔を合わせることができ良かったです。また、普段はできない貴重な体験することができました。次回の受け入れやカナダに行くことを楽しみにしています。

ホストファミリー募集のお知らせ

姉妹都市「カナダ・サーモンアーム市」からの使節団が、平成24年3月25日(日)～4月1日(日)の1週間、来日します。団員の子ども達をホームステイさせていただける「ホストファミリー」を募集します。受け入れに際しては、特に個室やベッド、洋食などを用意する必要はありません。一般的な日本家庭での生活体験を楽しみにしてきますので、気軽に友達として接して下さい。

自宅にいながらにして身近な国際交流を体験できる絶交のチャンスです！中高生などのお子さんにはホストとして行動をとっていただき、東京一泊研修(ディズニーリゾート等)や中学校交流会などを一緒に体験します。

■募集要件

- ① メインホストとして受け入れの期間、一緒に行動できる中学生～大学生がいること
- ② 受け入れ協力(宿泊、食事などの提供)が可能なお家族
- ③ 受入説明会及び英会話研修会に参加できること

※平成24年2月19日(日)江戸崎公民館
午後1時30分から

■募集人数 約10人を予定

■申込方法 平成24年1月6日(金)までに稲敷市役所企画課：029-892-2000へお申込み下さい。



さよならパーティ



2010年受入時の様子

対面式

青少年親善大使 カナダ・サーモンアームへ

市では毎年夏に青少年親善大使として、カナダ・サーモンアーム市へ稲敷市在住の中学生・高校生を派遣しています。(平成23年度は震災のため中止)1週間のホームステイ生活を通じ、海外での家庭生活や大自然の迫力を体験します。募集は5月頃を予定しています。詳しくは稲敷市役所企画課へお問い合わせください。

「継続 20 年の重み」

沢山のエールに感謝

姉妹都市交流委員会会長 吉田 多嘉子

会長の任を受けて 3 年目となりました。日頃から皆さんのご協力に心からお礼申し上げます。

3 月 11 日の大震災では、私達姉妹都市交流委員会の活動も大きなダメージを受けました。22 年度春の受け入れ、23 年度夏の派遣とメインの事業を中止しました。昨年度は、この会が創立 20 周年記念でしたから全く残念なことでした。

今回の震災に際しては、サーモンアームの皆さんから沢山の温かいエールをいただきました。これも交流 20 年の賜物と嬉しさでいっぱいでした。(p2 掲載)

今年度は派遣に代って、会員の研修として、会員及び受け入れ予定だった生徒にも呼びかけて、成田空港及び航空博物館の見学を実施しました。後者については特に生徒に好評でした。(p3 掲載)

さて、来春 3 月には、サーモンアームからの来日が予定されています。交流再開をおおいに期待し、歓迎したいと思います。その節には皆様のご協力よろしくお願い致します。



主な姉妹都市交流の歴史

▼ 1990.4.11 旧東町姉妹都市調印



Salmon Arm

1995.2.19 旧東町姉妹都市交流委員会設立

▼ 1998.7.25 「友情の門」竣工(サーモンアーム市)



2002.3.30 「友情の家」竣工(旧東町) ▲

▼ 2006.3.27 稲敷市とサーモンアーム市の姉妹都市提携調印式



2006.4.1 「友情の手形」設置 ▼



▼ 2010.8.18 交流 20 周年記念「花水木」を植樹(サーモンアーム市)



2011.3.25 交流 20 周年記念「楓の木」を植樹(稲敷市) ▲

INFORMATION

○サーモンアーム市親善使節団来日

平成 24 年 3 月 25 日から 4 月 1 日までの間、カナダ・サーモンアーム市より親善使節団が稲敷市を訪れ、ホームステイにより市民の皆さんと交流を深める予定です。見かけたら気軽に声をかけてください。

○「友情の家」貸出し

サーモンアーム市から贈られた「友情の家」(あずま生涯学習センター隣)では、バーベキュー等が楽しめます。利用希望者は、あずま生涯学習センター：0299-79-0053 へお申し込み下さい。

○会員募集！あなたも国際交流しませんか？

・姉妹都市交流委員会

姉妹都市派遣事業、ホームステイ受入事業など稲敷市の実施する幅広い姉妹都市(サーモンアーム市)との活動に協力し、民間交流活動を展開しています。なお、お問い合わせ・申込みについては姉妹都市交流委員会事務局：029-892-2000 までご連絡下さい。

○稲敷市ホームページをご覧ください

この姉妹都市交流事業(海外派遣・受け入れ)の詳細は稲敷市 HP <http://www.city.inashiki.lg.jp/> (市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業)内に掲載されております。青少年親善大使派遣、使節団受け入れの募集についても、公募しております。

サーモンアーム



交流委員会広報委員

○委員長 山本 彰治

石井 道朗 戸澤 公子 高木 由美子

編集後記

緊急時にこそ、その本来のありがたさがわかるものです。今回、サーモンアームと稲敷の「見えない糸がはっきりと見えた」そんな感じです。送られてきたメッセージや千羽鶴にどれだけ勇気づけられたでしょうか。これまでの交流に感謝しつつ、これからも青少年の交流が深く、長く続きますように。(山本)

編集：姉妹都市交流委員会広報委員
稲敷市企画課